



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日
上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス
 コード番号 4732 URL <http://www.ussnet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	54,003	11.1	26,021	11.4	26,436	10.9	17,674	8.0
29年3月期第3四半期	48,622	△3.5	23,358	△7.8	23,833	△7.9	16,370	△0.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 18,210百万円 (11.2%) 29年3月期第3四半期 16,373百万円 (△1.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	69.57	69.45
29年3月期第3四半期	64.28	64.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	195,861	170,185	83.8
29年3月期	197,374	159,197	80.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 164,104百万円 29年3月期 158,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	23.20	—	23.20	46.40
30年3月期	—	23.50	—		
30年3月期(予想)				23.70	47.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,700	11.2	35,800	10.5	36,400	10.3	24,000	4.8	94.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	313,250,000株	29年3月期	313,250,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	59,174,094株	29年3月期	59,272,884株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	254,022,591株	29年3月期3Q	254,651,476株

(注) 平成30年3月期3Qの期末自己株式数には276,200株、平成29年3月期の期末自己株式数には373,800株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は平成30年2月13日（火）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内自動車流通市場は、新車販売が好調に推移したことなどから、登録車の新車登録台数が2,360千台（前年同期比1.4%増）、軽自動車の新車登録台数が1,296千台（前年同期比10.5%増）となり、新車登録台数全体では3,656千台（前年同期比4.5%増）となりました。

また、中古車登録台数も、登録車は2,781千台（前年同期比3.0%増）、軽自動車は2,147千台（前年同期比3.7%増）、中古車登録台数全体では4,929千台（前年同期比3.3%増）と前年同期実績を上回る結果となりました。

（（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会調べ）

中古車輸出市場は、主な仕向地であるアフリカ諸国やパキスタン、ロシア向けの輸出台数が増加したことなどから輸出台数は1,004千台（前年同期比10.7%増）と大幅に増加しました。（財務省貿易統計調べ）

オートオークション市場は、好調な新車販売を受け、新車買い替え時の下取り車が増加したことなどから、出品台数は5,535千台（前年同期比5.3%増）、成約台数は3,485千台（前年同期比6.0%増）、成約率は63.0%（前年同期実績62.5%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高54,003百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益26,021百万円（前年同期比11.4%増）、経常利益26,436百万円（前年同期比10.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益17,674百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

なお、第2四半期連結会計期間において、株式会社ジェイ・エー・エーの株式の66.04%を取得したことにより、第2四半期連結会計期間末をみなし取得日として、同社および同社の子会社である株式会社H A A神戸および株式会社オークション・トランスポートを連結の範囲に追加しております。

オートオークション

オートオークションは、U S Sの既存会場の出品台数が1,776千台（前年同期比5.6%増）、成約台数が1,138千台（前年同期比4.9%増）と好調に推移したことに加え、株式会社ジェイ・エー・エーを子会社化したことから、U S Sグループ全体の出品台数は1,915千台（前年同期比13.9%増）、成約台数は1,212千台（前年同期比11.7%増）、成約率は63.3%（前年同期実績64.5%）となりました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高42,509百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益25,261百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、台当たり粗利益が減少したことなどから減収減益となりました。

事故現状車買取販売事業は、車両単価の高い車種の取扱台数が増加したものの、販売台数が減少したことなどから増収減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高7,049百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益151百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

その他

廃自動車等のリサイクル事業は、廃自動車および金属スクラップの取扱量が増加したことに加え、金属スクラップ相場が好調に推移したことなどから増収増益となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、受注台数が増加したことから増収増益となりました。

この結果、その他のセグメントは、外部顧客に対する売上高4,444百万円（前年同期比22.4%増）、営業利益531百万円（前年同期比292.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は195,861百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,512百万円減少しました。これは主に、株式会社ジェイ・エー・エーの子会社化によりの前払金27,211百万円、有形固定資産が9,388百万円増加した一方で、現金及び預金が32,931百万円、オークション貸勘定が6,819百万円減少したことによるものです。

負債合計は25,675百万円となり、前連結会計年度末と比較して12,500百万円減少しました。これは主に、株式会社ジェイ・エー・エーの子会社化により長期預り保証金などが増加し、固定負債のその他が1,464百万円増加した一方で、オークション借勘定が9,008百万円、未払金および自動車税預り金などの減少により流動負債のその他が3,457百万円、未払法人税等が1,391百万円減少したことによるものです。

純資産合計は170,185百万円となり、前連結会計年度末と比較して10,988百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が5,734百万円増加したことに加え、株式会社ジェイ・エー・エーの子会社化などにより非支配株主持分が4,846百万円増加したことによるものです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して16,931百万円減少し、30,946百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は14,796百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益26,436百万円（前年同期比11.3%増）、法人税等の支払額10,261百万円（前年同期比0.9%減）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は19,681百万円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出31,413百万円（前年同期実績一百万円）、札幌会場の新築建替えなど有形固定資産の取得による支出3,880百万円（前年同期比16.3%減）、預入期間が3か月を超える定期預金の純減少額16,000百万円（前年同期実績 純増加額6,980百万円）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は12,046百万円となりました。これは主に、配当金の支払額11,878百万円（前年同期比6.3%増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（平成29年11月6日発表）の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,778	41,846
オークション貸勘定	11,668	4,848
受取手形及び売掛金	2,605	2,213
たな卸資産	751	851
その他	1,697	2,000
貸倒引当金	△38	△62
流動資産合計	91,462	51,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,979	38,948
土地	56,911	63,567
建設仮勘定	342	28
その他(純額)	3,635	3,712
有形固定資産合計	96,868	106,257
無形固定資産		
のれん	313	27,524
その他	1,537	2,673
無形固定資産合計	1,850	30,198
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,682	8,217
貸倒引当金	△490	△509
投資その他の資産合計	7,192	7,707
固定資産合計	105,911	144,163
資産合計	197,374	195,861
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	15,051	6,043
支払手形及び買掛金	372	323
短期借入金	30	—
1年内返済予定の長期借入金	220	220
未払法人税等	5,108	3,717
引当金	632	357
その他	7,385	3,927
流動負債合計	28,801	14,589
固定負債		
長期借入金	3,820	3,527
退職給付に係る負債	368	677
資産除去債務	373	603
その他	4,813	6,277
固定負債合計	9,375	11,086
負債合計	38,176	25,675

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,913	18,913
利益剰余金	173,488	179,223
自己株式	△47,602	△47,411
株主資本合計	163,681	169,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	135
土地再評価差額金	△5,694	△5,633
退職給付に係る調整累計額	△3	△3
その他の包括利益累計額合計	△5,652	△5,501
新株予約権	306	373
非支配株主持分	861	5,707
純資産合計	159,197	170,185
負債純資産合計	197,374	195,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	48,622	54,003
売上原価	19,195	21,279
売上総利益	29,427	32,724
販売費及び一般管理費	6,069	6,702
営業利益	23,358	26,021
営業外収益		
受取利息	22	12
不動産賃貸料	326	314
雑収入	185	154
営業外収益合計	534	480
営業外費用		
支払利息	0	8
不動産賃貸原価	42	35
雑損失	15	22
営業外費用合計	58	65
経常利益	23,833	26,436
特別利益		
固定資産売却益	3	24
投資有価証券売却益	64	77
特別利益合計	68	101
特別損失		
固定資産売却損	0	6
固定資産除却損	128	79
その他	25	14
特別損失合計	154	100
税金等調整前四半期純利益	23,747	26,436
法人税等	7,293	8,315
四半期純利益	16,453	18,121
非支配株主に帰属する四半期純利益	82	447
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,370	17,674

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	16,453	18,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80	88
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△80	88
四半期包括利益	16,373	18,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,290	17,762
非支配株主に係る四半期包括利益	82	447

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,747	26,436
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	3,355	3,618
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	62	407
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11	△43
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△305	△321
受取利息及び受取配当金	89	97
支払利息	△37	△21
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	8
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△64	△77
オークション勘定の増減額	119	61
売上債権の増減額 (△は増加)	△874	△1,694
仕入債務の増減額 (△は減少)	508	419
未払金の増減額 (△は減少)	△50	△75
預り金の増減額 (△は減少)	71	△1,445
預り金の増減額 (△は減少)	△1,560	△1,506
その他	△62	△841
小計	24,988	25,021
利息及び配当金の受取額	63	45
利息の支払額	△0	△8
法人税等の支払額	△10,352	△10,261
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,698	14,796
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△6,980	16,000
有価証券の償還による収入	3,000	—
有形固定資産の取得による支出	△4,638	△3,880
有形固定資産の売却による収入	4	45
無形固定資産の取得による支出	△590	△379
投資有価証券の売却による収入	81	86
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△31,413
その他	△107	△140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,230	△19,681
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30	△30
長期借入金の返済による支出	△82	△292
預り保証金の預りによる収入	124	91
預り保証金の返還による支出	△68	△54
自己株式の取得による支出	△7,491	△0
自己株式の売却による収入	184	205
自己株式取得のための金銭の信託の増減額 (△は 増加)	854	—
配当金の支払額	△11,178	△11,878
非支配株主への配当金の支払額	—	△75
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△69	△2
その他	△10	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,767	△12,046
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,298	△16,931
現金及び現金同等物の期首残高	37,370	47,878
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,072	30,946

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオ クション	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	38,176	6,816	44,992	3,629	48,622	—	48,622
セグメント間の 内部売上高または 振替高	359	0	359	7	366	△366	—
計	38,535	6,816	45,352	3,637	48,989	△366	48,622
セグメント利益	22,872	185	23,057	135	23,193	164	23,358

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額164百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオ クション	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	42,509	7,049	49,559	4,444	54,003	—	54,003
セグメント間の 内部売上高または 振替高	382	0	383	14	398	△398	—
計	42,892	7,049	49,942	4,459	54,401	△398	54,003
セグメント利益	25,261	151	25,413	531	25,944	77	26,021

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額77百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	29年3月期	30年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	486	540	11.1	747
営業利益	233	260	11.4	358
経常利益	238	264	10.9	364
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	163	176	8.0	240

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	29年3月期	30年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	89	100	12.3	143
成約手数料	86	98	13.3	138
落札手数料	128	142	10.6	200
バイクオークション手数料	5	5	2.9	6
商品売上高	10	14	30.5	18
その他の営業収入	59	63	6.0	87
オートオークション計	381	425	11.4	594
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	42	42	△0.4	56
事故現状車買取販売	25	28	9.7	38
中古自動車等買取販売計	68	70	3.4	94
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	32	40	23.2	52
中古自動車の輸出手続	2	3	19.0	4
代行サービス				
その他	0	0	3.5	0
その他計	36	44	22.4	57
合計	486	540	11.1	747

(注) 1. バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。

2. 株式会社ジェイ・エー・エーおよび同社の子会社2社については、当連結会計年度において連結の範囲に追加（みなし取得日 平成29年9月30日）しております。

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	29年3月期	30年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	52	42	△18.6	47
完工ベース	47	35	△24.3	42
減価償却費	32	35	8.0	48